

---

## 1. 化学品及び会社情報

---

### 化学品の名称

製品名 粉チョーク 赤 (品番: 2204)

### 会社情報

会社名 株式会社 たくみ  
住所 兵庫県小野市檜山町 505  
電話番号 0794-62-6964  
FAX 番号 0794-63-2593

---

## 2. 危険有害性の要約

---

### GHS 分類

物理化学的危険性 分類できない

健康に対する有害性 急性毒性 分類できない  
皮膚腐食性・刺激性 分類できない  
眼に対する重篤な損傷 分類できない  
発がん性 分類できない  
特定標的臓器・全身毒性 (単回暴露) 分類できない  
特定標的臓器・全身毒性 (反復暴露) 区分 2 (肺)

環境に対する有害性 分類できない

### ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 警告

危険有害性情報 長期又は反復暴露による肺の障害のおそれ

### 注意書き

(安全対策) 使用前に取り扱い説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

粉塵を吸引しないこと。

取り扱い後はよく手を洗うこと。

この製品を使用するときに飲食又は喫煙をしないこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/マスクを着用すること。

(救急処置)

眼に入った場合水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

暴露又は暴露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。

吸入した場合は患者を空気の新鮮な場所に移し呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師の診断/手当てを受けること。

(保管 (貯蔵))

施錠して保管すること。

容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。

(廃棄)

内容物/容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って破棄すること。

---

### 3. 組成及び成分情報

---

#### 化学物質・混合物の区別

混合物	天然鉱物	炭酸カルシウム
	天然鉱物	タルク
	天然鉱物	その他
	赤色顔料	

危険有害性成分	労働安全衛生法	表示・通知対象物 (二酸化ケイ素 $\leq$ 5%)
---------	---------	-----------------------------

---

### 4. 応急措置

---

吸入した場合	患者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 暴露又は暴露の懸念のある場合は医師の診断/手当てを受けること。
--------	--

皮膚に付着した場合	多量の水と石けんで洗うこと。皮膚刺激が生じた場合は医師の診断/手当てを受けること。
-----------	---

眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続け眼の刺激が続く場合は医師の診断/手
---------	---

当てをうけること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。吐かせないこと。

気分が悪いときは医師の診断/手当てを受けること。

---

## 5. 火災時の措置

---

消火剤	不燃性。周辺の火災時には適切な消火薬剤を使用すること。
使ってはならない消火剤	棒状注水
特有の危険有毒性	火災時には大量の炭酸ガスを放出し酸化カルシウムを生じる。 刺激性もしくは有毒なフェームやガスを放出する。 有害な一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物が形成される。
特有の消火方法	移動可能な容器は安全な場所に移す。移動不可能な容器は周囲を水噴霧で冷却する。
消火を行う者の保護	周辺の火災消火作業には適切な空気呼吸器・保護衣を着用する。

---

## 6. 漏出時の措置

---

人体に対する注意事項	関係者以外の立ち入りを禁止する。着火源を遠ざける。
保護具及び緊急時措置	作業には適切な保護具（8.暴露防止及び保護措置参照）を着用する。 必要に応じた換気を確保する。
環境に対する注意事項	漏出物は土壌、下水、河川を汚染しないように回収する。
封じ込め及び浄化方法・機材	漏出物は容器に掃き入れ回収する。 湿らせても良い場合は粉塵を避けるために湿らせてから掃き入れる。
二次災害の防止策	床面に残ると滑る危険があるためこまめに回収する。

---

## 7. 取り扱い及び保管上の注意

---

取り扱い	
技術的対策	作業には適切な保護具（8.暴露防止及び保護措置参照）を着用する。
安全取り扱い注意事項	粉塵を吸入しない。換気の良い所で使用する。眼との接触を避ける。

接触回避	10.安全性及び反応性参照
衛生対策	取り扱い時に飲食や喫煙をしない。取り扱い後はよく手を洗う。
保管	
技術的対策	保管場所には貯蔵/取り扱いには必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
混触禁止物質	10.安全性及び反応性参照
保管条件	換気の良い場所で保管する。容器を密閉しておく。
容器包装材料	密封可能な破損しない容器

---

## 8. 暴露防止及び保護措置

---

管理濃度	データなし
許容濃度 (日本産業衛生学会)	炭酸カルシウム：第3種粉塵 吸入性粉塵 2mg/m <sup>3</sup> 、総粉塵 8mg/m <sup>3</sup> タルク：第1種粉塵 吸入性粉塵 0.5mg/m <sup>3</sup> 、総粉塵 2mg/m <sup>3</sup> その他：第3種粉塵 吸入性粉塵 2mg/m <sup>3</sup> 、総粉塵 8mg/m <sup>3</sup> (参照：結晶質シリカ吸入性粉塵 0.03mg/m <sup>3</sup> )
設備対策	粉塵飛散対策として集塵装置の設置が必要
保護具	
呼吸器の保護具	空气中濃度に応じた防塵マスクを着用
手の保護具	保護手袋着用
眼の保護具	保護眼鏡着用
皮膚及び身体の保護具	保護服、保護長靴着用

---

## 9. 物理的及び化学的性質

---

外観	赤色微粉末
臭い	なし

PH	5~11 (10% 20°C)
比重	2.7 mg/m <sup>3</sup> (炭酸カルシウム)
水に対する溶解度	不溶
融点・凝固点	データなし
沸点・初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	不燃性
爆発範囲	不燃性
自然発火温度	>290°C (VDI2263(Grewer))
分解温度	約 300°C (加熱速度：3K/min)

---

## 10. 安全性及び反応性

---

反応性・化学的安定性	安定である
危険有害反応可能性	
避けるべき条件	粉塵の発生を抑える。アルミニウム粉末を避ける。
混触危険物質	酸、アルミニウム、アンモニウム塩、フッ素、マグネシウムの接触を避ける。
危険有害な分解生成物	燃焼、熱分解により大量の炭酸ガスを放出し酸化カルシウムを生じる。 1600°C以上でフェームガスを放出する。

---

## 11. 有毒性情報

---

急性毒性	経口	LD50 (ラット)	6450mg/kg (PTECS)
	吸入	LCO > 1.58mg/l (4h、ラット)	

皮膚腐食性・皮膚刺激性    データ不足の為分類できない

眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性    眼に入ると物理的な刺激が現れることがあるがデータ不足の為

分類できない

呼吸器感作性・皮膚感作性 データなし

生殖細胞変異原性 データなし

発がん性 3.ヒトに対する発がん性について分類できない (IARC2012)  
( (参照) 結晶性シリカの発がん性は基準値以下)

生殖毒性 データなし

特定標的臓器毒性

単回暴露 データ不足の為分類できないが吸入濃度が高い場合は吸入器に影響を及ぼすことがある (IARC68 (1997) )

反復暴露 反復暴露により肺に影響を与え肺障害を生じることがある (ICSC) ことから区分2とした。又、腎臓に影響を及ぼすことがある (IARC68(1997))

吸引性呼吸器有毒性 データなし

---

12. 環境影響情報

---

生態毒性 データなし

残留性/分解性 データなし

生体蓄積性 データなし

土壌中の移動性 データなし

オゾン層への有毒性 データなし

---

13. 廃棄上の注意

---

残余廃棄物 国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。  
都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に業務委託する。

汚染容器及び包装 国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。  
都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に業務委託する。

---

#### 14. 輸送上の注意

---

##### 国内規制

陸上規制情報 消防法、労働安全衛生法等の規定に従う。

海上規制情報 船舶安全法、港則法等の規定に従う。

航空規制情報 航空法等の規制に従う。

国連番号 該当せず

海洋汚染物質 該当せず、海洋汚染防止法等の規則に従う。

特別の安全対策 直射日光を避け、容器の破損、漏れのないよう積み崩れの防止を確実に行う。

---

#### 15. 適用法令

---

##### 国内適用法令

労働安全衛生法 第 57 条「表示・通知対象物」に二酸化ケイ素が該当

化審法 特定化学物質・監視化学物質に該当せず

改定化学物質管理促進法（PRTR 法） 該当せず

その他の適用法令 じん肺法、粉塵障害防止規則

---

#### 16. その他の情報

---

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載データや評価に関しては、いかなる保障をなすものではありません。また記載事項は通常取り扱いを対象としたものですので、特別な取り扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施のうえ、お取り扱い願います。